

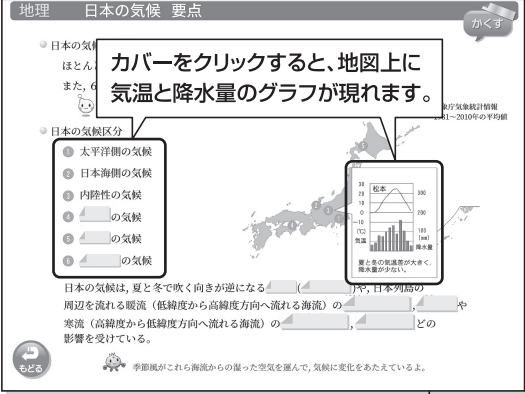
1. 学習項目

気候と日本(1h計画)

2. 本時の目標

- ・日本の気候の特徴を調べる。
- ・日本の気候は自然災害などと密接な関係を持っていることを理解する。

3. 本時の展開

	学習内容と主な発問	学習活動	指導上の留意点
導入	1. 日本の気候の特徴を考える。 「私たちの暮らす日本は、変化に富んだ気候に恵まれています。各季節毎にどのような特徴があるのかを考えてみましょう。」	「春は温暖で過ごしやすい。」 「夏は湿度が高く暑い。」 「梅雨がある。」 「冬は雪がたくさん降る地方がある。」	○ 春夏秋冬、それぞれの季節ごとに気候の特徴を考えさせる。 ○ 梅雨や台風などにも着目させる。
展開Ⅰ	2. 日本国内の気候区分を調べる。 「日本は地方によってかなり気候の差があります。その様子を調べてみましょう。」 〈日本の気候〉要点 	○ 各地方の気候が、どのような自然的要因に起因するものかを考える。(グループ活動) ○ 気候の特徴と要因の関係について意見を発表する。	○ まずは自分たちが住んでいる地域がどの気候にあたるか、見当をつけさせ、その特徴について考えさせる。 ○ 制限時間を設けてソフトの内容を調べさせてから、プロジェクターなどを使って内容を確認するとよい。

【教科書対応表】 ※ この指導案は下記教科書に対応しています。ご参照ください。

出版社名	教科書名	区分 / タイトル
教育出版	中学社会 地理	第2編 第2章 ④ / 四季のある気候 ⑤ / 自然災害に向き合う ⑥ / 災害から身を守るために
東京書籍	新しい社会 地理	第2編 第2章 2 / 気候から見た日本の特色 3 / 自然災害と防災・減災への取り組み
日本文教出版	中学社会 地理的分野	第3編 第2章 ② / 気候から見た日本の地域的特色と地域区分 ③ / 地震・火山災害から見た日本の地域的特色と地域区分 ④ / 気象災害から見た日本の地域的特色と地域区分 ⑤⑥ / 災害にそなえるために
帝国書院	中学生の地理	第3部 第2章 3 / 日本の気候 4 / 日本のさまざまな自然災害 5 / 自然災害に対する備え

● 日本の気候の特徴

ほとんどが にふくまれているので四季がある。

また6月頃の や、夏から秋にかけてくる が雨を多く降らせている。

● 日本の気候区分

① の気候

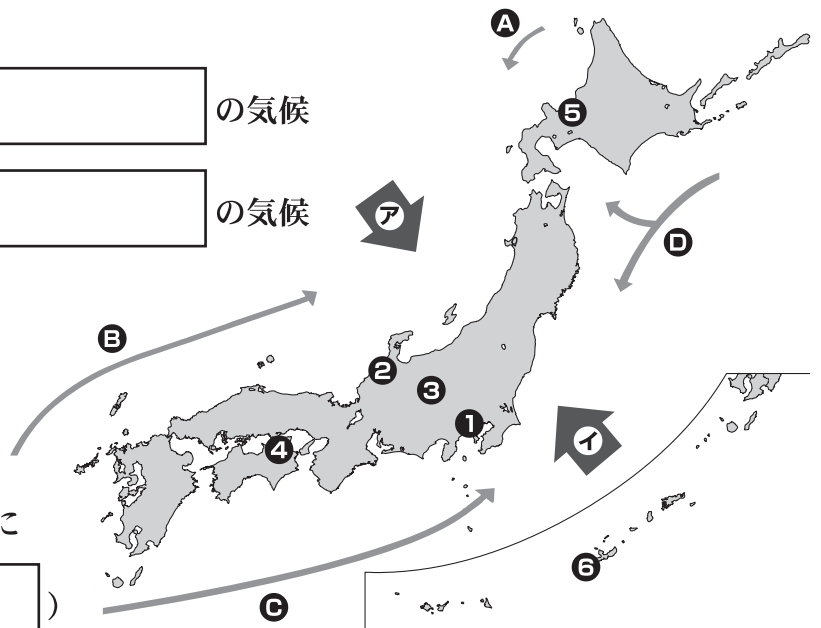
② の気候

③ の気候

④ の気候

⑤ の気候

⑥ の気候



日本の気候は、夏と冬で吹く向きが逆に

なる ()

や、日本列島の周辺を流れる暖流の (日本海流)、寒流の (千島海流) などの影響を受けている。

▶ 海流の名前を書き、暖流と寒流のどちらかが分かるよう () の中の正しい方に○をつけましょう。

Ⓐ (暖流・寒流)

Ⓑ (暖流・寒流)

Ⓒ (暖流・寒流)

Ⓓ (暖流・寒流)

▶ ㉞と㉟の季節風のうち、夏に吹くのはどちらですか？

● 日本の気候の特徴

ほとんどが **温帯** にふくまれているので四季がある。

また6月頃の **梅雨** や、夏から秋にかけてくる **台風** が雨を多く降らせている。

● 日本の気候区分

① **太平洋側** の気候

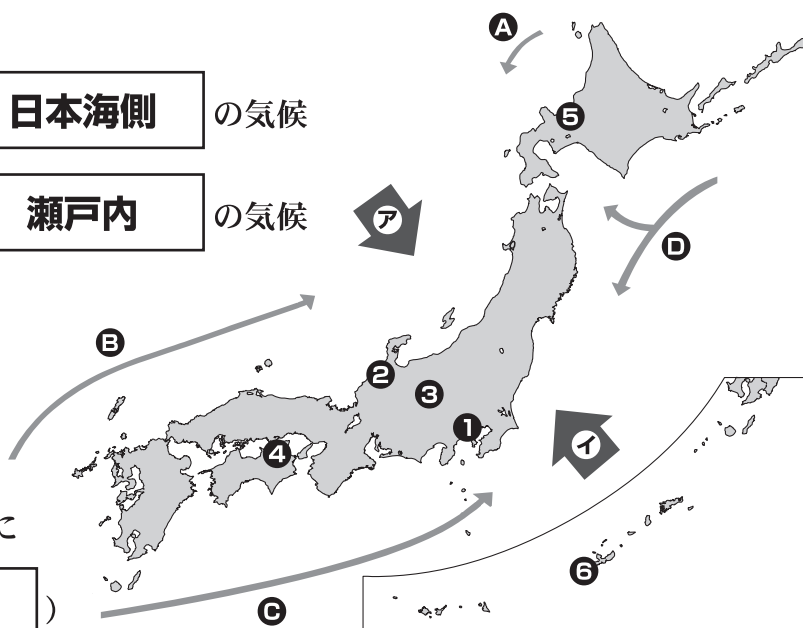
② **日本海側** の気候

③ **内陸性** の気候

④ **瀬戸内** の気候

⑤ **北海道** の気候

⑥ **南西諸島** の気候



日本の気候は、夏と冬で吹く向きが逆に

なる **季節風** (**モンスーン**)

や、日本列島の周辺を流れる暖流の **黒潮** (日本海流)、寒流の **親潮** (千島海流) などの影響を受けている。

▶ 海流の名前を書き、暖流と寒流のどちらかが分かるよう () の中の正しい方に○をつけましょう。

Ⓐ **リマン海流** (暖流・**寒流**)

Ⓑ **対馬海流** (**暖流**・寒流)

Ⓒ **黒潮(日本海流)** (**暖流**・寒流)

Ⓓ **親潮(千島海流)** (暖流・**寒流**)

▶ ㉞と㉟の季節風のうち、夏に吹くのはどちらですか？

㉟